

第 11 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 3 年 10 月 22 日（金曜）		午後 1 時 1 5 分 開会			
	休憩	13:16-17	13:24-40	14:17-25	14:34-35	14:42-43
					午後 3 時 0 2 分 閉会	
	休憩時間：0 時間 27 分			会議時間：1 時間 2 0 分		
会議場所	役場 3 階 委員会室					
出席委員 氏 名	委員長	鈴木 健充	委 員	中村 和宏		
	副委員長	中田智恵子	委 員	寺町 平一		
	委 員	梶澤 幸治	委 員	広瀬 重雄		
	委 員	立川 美穂			議 長 早苗 豊	
説明員	環境土木課長	橋本直樹	同課長補佐	中島広貴	同課長補佐 中村宗紀	
	同道路維持係長	本保隆之	同総務係長	木村亮太		
	同主査	葛西将太	同契約法制係長	横山裕介		
	総務課長	佐々木快治	商工労政課長	仲野裕司		
参考人						
欠席委員 氏 名						
事務局職員	事務局長	安田 敦史	係長	佐藤 史彦		

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

● 当日追加報告事項

キャッシュレス決済を活用した地域経済活性化事業の進捗状況について

- ・ 商工労政課長：課長補佐から説明の旨告げる。
- ・ 課長補佐：資料説明（「目的」「概要」「進捗状況」等）

（1）調査事項

ア 令和 3 年度「芽室町除雪計画」について 資料 1

- ・ 環境土木課長：大きな変更点はないが、ポイントを中心に担当係長から説明する。
- ・ 道路維持係長：除雪期間、出動基準、除雪路線、路線延長、除雪体制等を説明。
- ・ 委員長：意見・質疑はないか？
- ・ 立川委員：市街地全戸の間口処理の検討について、環境土木課として実態把握はしたのか？
- ・ 係長：環境土木課は道路除雪が担当となり、福祉的な課題については、高齢者支援課と連携し、実態把握に努めている。

- ・立川委員：(間口除雪を必須としている世帯は) 32世帯が該当と聞いている。福祉除雪の担い手も限りがある。高齢化の進行、コミュニティのあり方等の時代背景を踏まえ、この状況解決について、市内の業務分担は理解するものの、町全体の課題として、今後どのように検討していく考えがあるか？
- ・課長：ご意見の件については、かねてから継続的に検討を重ねている。先進自治体の例などを見ながら、何か具体的な手立てができないかを検討している。現行予算の範囲で、かつ、深夜から早朝までの限られた時間の中での対応として、例えば、ゴミ出しもできない状況の方等に対するサポートなど、日常生活に大きな支障のある方に寄り添える手法を考えているところである。
- ・広瀬委員：令和2年度と、ほぼ変更なしの計画と捉えて良いか？
- ・係長：町道の除雪延長のみの変更である。
- ・広瀬委員：資料の体裁として、変更点が明確になるよう配慮していただきたい。また、別件として、昨年度は河北地区で残念な事故が発生した。これは、毎年、気象状況が大きく変化し、それに起因することともいえる。例えば、予報を超える局地的な降雪時の対応などでは、通常の計画通りの作業ではなく、臨機応変な対応が必要となる、そういった想定の手続きについては検討しているか？
- ・係長：気象予報に応じて、一定程度、臨機応変な対応にも努めているが、その対応にも限界があることは実感している。
- ・広瀬委員：説明は理解する。しかしながら、町民が実感する作業成果は、気象状況との闘いとはいえ、臨機応変な対応として理解されているとは言い難い反応を感じる。降雪の状況に応じた地区別の除雪優先順位の変更など、これだけ異常気象が頻繁に起こるなら、その時々の実態に合わせて、計画に委ね過ぎることなく、随時、シミュレーションしながら除雪にあたる工夫が必須と考えるがいかがか？
- ・係長：ご指摘の点を踏まえて、検討をし取り組んでいきたい。
- ・梶澤委員：安全対策について2点伺う。1点目は住民を守る視点である。今年の1月にスクールバス事故が起きた。その後、冬道の安全対策について、どのように改善されたのか？
- ・係長：全町的にスクールバス路線を対象に、スノーポールの配置に向けて実態調査をした。それを踏まえ、まずは、河北地区に設置が完了した(240本)ところである。今後は、(スクールバス路線を)エリアごと(河南、河東等)に年次計画で整備していく。
- ・梶澤委員：今後は380本。当然、予算のこともあるが、住民の生命を守ることを最優先とすると、緊急・即時的にこの対策にあたるべきではないか？
- ・係長：緊急性を重視し、今後の予算措置に向けて取り組んでいきたい。
- ・梶澤委員：2点目は除雪担当側への安全対策についてである。近年、除雪事故等に係る損害賠償の専決処分が多く感じるが、実態はいかがか？
- ・係長：注意喚起を徹底し、事故の予防・防止に努めている。これで十分というものではないので、いっそうの職員意識の向上と業務管理に努めていきたい。
- ・梶澤委員：オペレーターの担い手対策はどのようになっているか？計画にも反映されているのか？

- ・係長：担い手対策は、当該計画には反映していない。オペレーターの人材確保には苦慮している実態はある。
- ・中田委員：昨年は通学路での除雪に係る課題が多く耳に入ってきた。交差点処理に時間を要した箇所もあった。その課題解決についてはいかがか？
- ・係長：カット排雪等の手法を用いて、昨年度の課題解決に努めたい。
- ・中田委員：路上駐車による車の前後の残雪に苦慮する場面が見受けられる。この課題解決に向けてはいかがか？
- ・係長：広報誌での注意喚起、毎年の特定事例は警察との連携による法的手段も念頭に置いている。
- ・梶澤委員：町道、道道との重なりなどの課題はいかがか？
- ・係長：道路区分があるので、一義的にはそれぞれの道路管理者間で課題の共通認識を図るが、双方で調整・協議しながら、場面に応じては、臨機応変に対応することも視野に入れて対応していきたい。
- ・中村委員：教育委員会との連携は？
- ・係長：常に連携している。今後も継続して取り組む。
- ・委員長：ほかに質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 年末年始の休日変更について 資料 2-1.2-2

- ・総務課長：去る6月28日に総務経済常任委員会において、令和3年度改正を予定したい旨説明したが、その後、職員団体との交渉等の結果、令和4年末からの実施を目指して取り進めたく、その旨説明する。
- ・総務係長：資料説明（「改正に至る経過」「課題」「改正予定時期」等の説明）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・中村委員：資料中「意見・その他」とあるが、これは職員からの意見か？
- ・課長：本町の欄については、職員アンケートに基づいた意見である。
- ・中村委員：町民に対しても、今後、丁寧な説明を求めるがいかがか？
- ・課長：ご意見のとおり、丁寧に対応する。広報誌の連載や地域担当職員制度も活用する。
- ・委員長：ほかに質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 重大事故における検証機能の整備について 資料 3

- ・総務課長：資料説明（経緯、課題、検討と結果、結論について説明）
- ・委員長：質疑はないか？
- ・立川委員：重大事故の想定は？
- ・課長：学校現場、社会体育施設での事故を想定し検討した。ただ、このケースにあつては教育分野の系統で事故顛末の流れとなるので、町が当事者となる重大事故のケ

ースの想定はなかなか難しい。

- ・委員長：ほかに質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。

エ 9月定例会議の振り返りについて

- ・委員長：資料の「決算審査について」説明を求める。
- ・立川委員：資料説明。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・広瀬委員：「振り返り」の意見に記載されている「決算審査の資料」について、全ての事務事業の資料を要求するのは、法的な根拠からいっても、執行者側への物理的な業務量を鑑みても困難なのではないか？
- ・梶澤委員：今年度は機構改革の影響もあって、事務事業マネジメントシートが整っていなかったことと推察する。次年度以降は、決算に間に合うと理解しているが、具体的な状況について事務局から説明を求めたい。
- ・委員長：事務局から説明を求める。
- ・総務係長：事務事業マネジメントシートは、町長部局において12月公表が本来であり、これまでは、事務局として議員（議会）からの要望に応えるため、非公表時点の資料を提供した経過が事実である。本来は、議員個々が情報開示等の手続きにより情報を得るべきことが、正しい手順であることはご理解いただきたい。
- ・立川委員：議会として、決算審査の審議に必須の資料であると考え。重要な資料なので、是非要求したい。
- ・梶澤委員：政策形成サイクルを重視すると、決算審査に不可欠な資料と感ずるので、適正な手順と手続きを踏むことを前提に、この取扱いは、議会運営委員会で議論していただきたい。
- ・委員長：ほかに意見・質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「エ」を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任

(2) その他

- ・委員長：2点申し上げる。1点目は「研修会の振り返り」について、この内容を委員会内部で審議をするか、議運に報告か、意見を伺う。
- ・委員長：特に意見がないようなので、議運に報告する。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：2点目について、「NPO法人芽室まちなか応援隊」から総務経済常任委員会との意見交換の依頼があった。対応について、意見を伺う。

- ・中田委員：希望の日程を尊重して、要望の意見交換に臨んではいかがか。
- ・委員長：異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：詳細は正副一任としていただく。

事務局ともになし。

以上をもって、総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和3年10月22日

総務経済常任委員会委員長 鈴木健充